

地域重点政策ユニット

日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口 拡大プロジェクト

- ・空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、そしてこれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北海道近代化のストーリーである「炭鉄港」が、2019（令和元）年5月に日本遺産へ認定され、その活用を通じた地域活性化に期待が寄せられている。
- ・こうした中、日本遺産を構成する各文化財等を道内外の産業遺産や鉄道遺産ファンなどへPRするとともに、次世代を担う子どもたちに向けた事業を展開するなど、地域特有の資産を生かした取組を推進し、交流人口の拡大を図る。

《推進エリア》
後志・空知・胆振地域

主な取組内容

- 次代に「繋ぐ」炭鉄港
 - ・ガイド人材の育成とネットワークの構築
 - ・次世代への伝承
 - ・遺産の保全に関する取組の促進
- 地域で「稼ぐ」炭鉄港
 - ・広域周遊の促進
 - ・関連商品の開発・造成
 - ・受入環境の整備

地域重点政策ユニット

農林水産業の持続的発展・ ブランド化推進プロジェクト

- ・後志地域は、米、畑作物、野菜、果樹、畜産など地域の特色を活かした農業、カマツ、トドマツを主体とした森林資源の循環利用に向けた林業・木材産業、ホッケ、スウトウガラ、スメリカなど多彩な水産物が水揚げされる水産業が基幹産業となっているが、後継者不足や高齢化、所得の減少が進んでいる。
- ・そのため、担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図る。
- ・豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、高付加価値化やブランド化を促進していく。

《推進エリア》
後志地域

主な取組内容

- 高品質で収益性の高い農産物の栽培及びICTを活用した省力化技術の普及
 - ・高収益作物の導入
 - ・ICTを活用した省力化技術の普及
 - ・鳥獣被害防止の推進
- 道内一の収穫量を誇る醸造用ぶどうを活かしたワイナリーの集積
 - ・栽培・醸造・マーケティング等の技術の向上
- 日本海漁業振興を図るためのナマコやホタテなどの増養殖
 - ・ナマコやホタテなどの増養殖の推進
 - ・トなどの海獣による漁業被害防止対策の推進
 - ・密漁監視体制の強化
- 磯焼け地帯の未利用資源であるウニの身入り改善等による付加価値向上及び安定供給体制の確立
 - ・海域特性に応じた効率的・効果的な栽培漁業の推進
 - ・天候に左右されない蓄養の体制整備の推進
 - ・トなどの海獣による漁業被害防止対策の推進（再掲）
 - ・密漁監視体制の強化（再掲）
- 全道屈指の強度を持つ「ようていかまつ」の利用促進
 - ・「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進
 - ・地域の特性に応じた森づくりの推進
 - ・地材地消の推進
- 多様な農林水産業の担い手の育成・確保
 - ・担い手の育成・確保
- 多彩な一次産品や特産品の地元利用と道内外への販路拡大
 - ・特産品の発掘・磨き上げ
 - ・安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上
 - ・地元食材のレストランでの利用促進など産消協働の推進
 - ・官民協働による国内外でのプロモーションの展開
 - ・「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進（再掲）

地域重点政策ユニット

国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト

- ・後志地域は、リゾートエリアを中心としたウィンタースポーツや夏季のサイクリング、ラフティングなどのアクティビティや優れた景観などにより、国内外から多くの観光客が訪れる本道を代表する観光エリアとなっている。
- ・しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外の観光需要が大きく減少している。また、日帰り観光客の割合が多いことや観光客の季節偏在という課題の解決、今後の新幹線開業や高規格道路整備による新たな交通ネットワークを見据えた取組が求められている。
- ・このため、国内客の呼び込みの拡大やポストコロナの観光需要回復を見据えたインバウンド受入体制の整備を推進するとともに、アドベンチャートラベル等の新たな観光資源の発掘・磨き上げや、地域内で作られる豊かな食資源を活かしたガストロノミーツーリズム等による広域観光や滞在・通年型観光の推進に取り組み、観光客が安心して楽しむことができる持続可能な観光地を目指していく。

地域重点政策ユニット

Shiribeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

- ・国内外からの観光客が多く訪れているニセコ周辺地域では、冬季間のみスキー場やホテル等の関連施設で就業する若者が多数存在しており、こうした豊富な労働力を農業や食料品製造業など夏季に人手不足となっている業種とマッチングするなど、短期滞在者の通年雇用化による産業の担い手確保、移住・定住を促進するため、関係機関が連携して就業支援や人材育成への支援を行う。
- ・また、年間を通して外国人が多く滞在するという環境を活かし、国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材を育成し、地域における観光ビジネスや世界を相手に活躍できる人材育成に取り組む。
- ・さらにワーケーションの推進などによる関係人口の創出・拡大や、増加する外国人住民とともに地域づくりを進めることで、多文化共生社会の実現に向けた「まち・ひと・しごと」づくりの取組を推進していく。

《推進エリア》 後志地域

主な取組内容

- 後志地域の食資源を活用したガストロノミーをテーマとした広域観光の推進
 - ・農業・漁業体験など一次産業や食品加工業を始めとする二次産業と観光事業者との連携を図りながら「食」を活かした魅力ある観光地づくり
 - ・広域観光の推進
- リゾートエリアを中心としたウィンタースポーツのほか、管内各地で取組を進めている夏季のサイクリング、ラフティングなどのアドベンチャートラベルの推進による地域の魅力向上
 - ・インバウンド受入体制の充実
 - ・官民協働による国内外でのプロモーション展開
 - ・自然・景観の保全と活用による質の高いリゾート地域の形成
- 新たな交通ネットワークを広域的に活用するための連携した取組の推進
 - ・宿泊地（バ）と周辺の地域（サライト）が連携し、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進
 - ・シニツカハ イェイ北海道の推進
 - ・地域交通ネットワークの充実・確保
 - ・広域観光の推進
- 地域の観光ビジネスで活躍できる国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材の育成
 - ・商品造成や観光誘客プロモーションができる人材の育成

《推進エリア》 後志地域

主な取組内容

- 冬季のリゾート地域の労働力を夏季の農業等における人手不足分野に結びつけることを通じて、通年雇用化等による定住を推進
 - ・無料職業紹介所の開設による就業相談の実施
 - ・移住フェア等後志をPRする場への出席
 - ・通年滞在に必要な情報を総合的に提供するワンストップ窓口の設置
- 年間を通じて多くの外国人が滞在する環境を活かした国際感覚やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材の育成・多文化共生の推進
 - ・多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や英語実践機会等の創出
 - ・外国人とのコミュニケーション等を通じた人材育成
 - ・外国人住民向け日本語教室の実施等の支援